

「国内観光の振興・国際観光の拡大に向けた高速バス・LCC等の 利用促進協議会」の設置について

【趣旨】

訪日外国人の国内移動や日本人の国内観光を更に活性化させるためには、航空路線・高速バスと言った中長距離の交通サービスにおいて、路線・価格・内容の面で旅行者の多様なニーズに応える様々なサービスの提供を一層加速させることが重要である。

特に、高速バスやLCCは、低廉かつ良質な交通サービスとしてそうした多様なニーズに応えるものであり、関係者が連携して盛り上げ、支援することで、訪日外国人旅行者、若年層などの新たな旅行需要の創出や、地域間の交流人口の拡大につながることを期待される。

また、LCC等の航空サービスと空港アクセスバスや、高速バスと地域の路線バスのように組み合わせて活用することにより、交通ネットワークが拡充され、地域の鉄道等も含めた相乗効果によって国内移動の利便性を一層高めることができる。

さらには、今年4月には成田空港にLCC専用ターミナルが整備され、来年春には新宿南口に高速バス乗り場を集約したターミナルが開業するなど、LCCや高速バスの事業を飛躍的に発展させる可能性のある画期的なインフラ整備が進捗しているところである。

そこで、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」に基づき、高速バス及びLCC等の関係者による具体的な協働・連携を進めるための場として「国内観光の振興・国際観光の拡大に向けた高速バス・LCC等の利用促進協議会」を設置するものである。

【検討課題】

- ・ 高速バス・LCC等サービスに関する国内外向け情報プラットフォームの構築
- ・ LCCと高速バスの国内外向けイメージプロモーション
- ・ 高速バス等による空港から目的地までのアクセス確保
- ・ LCC等と、高速バス等の空港から目的地までのアクセスをセットにしたプロモーション
- ・ LCC拠点である成田・関空等に係るイメージプロモーション
- ・ LCCと高速バス等との乗り継ぎチケットの開発・普及拡充
- ・ 高速バスの外国人旅行者向けフリーパスの開発・普及拡充
道の駅との連携推進 等

【スケジュール（案）】

○平成27年12月15日：第1回 国内観光の振興・国際観光の拡大に向けた高速バス・LCC等の利用促進協議会

以降、課題に応じて関係者間の調整・検討を行った上で、年度末を目途に第2回を開催し、中間報告を得る。

○「観光立国実現に向けたアクションプログラム2015」

―「2000万人時代」早期実現への 備えと地方創生への貢献、観光を日本の基幹産業へ―

(平成27年6月5日観光立国推進閣僚会議決定) ※関連部分抜粋

3. 地方創生に資する観光地域づくり、国内観光の振興

(6)「LCC等・高速バス支援・国内旅行活性化」プログラム

○ 国内の地域間交流や訪日外国人の国内移動を更に活性化させるためには、航空路線・高速バスといった中長距離の交通サービスにおいて、路線・価格・内容の面で旅行者の多様なニーズに応える様々なサービスの提供を一層加速化させることが重要である。たとえば、LCCを、国民にとってより身近なサービスにすることで、国内旅行を大きく活性化させる可能性がある。また、すでに多くの国民が利用している高速バスも、サービスに関する情報を事業者の壁を超えて協働して提供したり、多言語での情報提供を充実するなどすれば、訪日外国人をはじめ新規の需要を掘り起こすことが期待できる。

さらに、LCC等の航空サービスと空港アクセスバスのように、両者を組み合わせて活用することにより、国内移動の利便性を一層高めることができる。関係者が連携して、これらの低廉かつ良質な交通サービスを盛り上げ、支援し、航空路線の地方就航や高速バスネットワークの充実を促すとともに、現地の観光情報等の発信を強化することにより、若年層、地域住民、訪日外国人旅行者など新たな旅行需要の創出や、地域での交流人口の拡大等を実現していく。

- ・ 国土交通省・観光庁、航空会社・高速バス事業者のほか、旅行会社、空港会社、就航自治体、空港アクセス事業者等により、「LCC等・高速バス活性化協議会」(仮称)を設置し、具体的な協働・連携を進めるためのプラットフォームを構築する。【新規】
- ・ LCC・高速バスについて、低運賃から想起されるイメージの向上に向け、低廉かつ安全・快適な交通手段であり、「旅の賢い選択肢」の一つとしてのブランド化が進むよう、イメージプロモーション戦略を実施する。【新規】
- ・ 各地の空港において、高速バスの活用などにより空港から目的地までの低廉で利便性の高い空港アクセスを確保するとともに、LCC等と空港アクセスをセットでプロモーションし、ドア・ツー・ドアで低廉かつ良質な旅行が実現することを周知する。【新規】
- ・ 新たにLCC専用ターミナルの供用が開始され、LCC拠点としての利便性が向上した成田空港及び関西空港について、都市中心部からのアクセスの利便性向上とその周知を図るとともに、これらの国際空港が、海外旅行のみならず国内旅行のためにも便利であるとのイメージが定着するようプロモーションを実施する。【新規】
- ・ LCC等が使用する機材(100t以下)に着目して着陸料を軽減する。【継続】
- ・ LCC等の更なる参入促進と持続的な成長に向けて、ボトルネックとならないよう操縦士・整備士の要員確保・養成対策を実施する。【改善・強化】
- ・ 関西空港において新たなLCC専用ターミナルを整備し、2016年下期より供用を開始する。また、中部空港においてLCC等の新規就航・増便に対応するためのエプロン整備を実施し、2015年度中に一部供用を開始する。【改善・強化】
- ・ 訪日外国人旅行者にとって、高速バスが利用しやすいものとなるよう、情報プラットフォームの構築を進める。【新規】
- ・ 高速バスを活用した周遊観光を促進するため、高速バスの外国人旅行者向けフリーパスの普及拡充を促進する。【改善・強化】
- ・ 国内外の観光客の高速バスによる広域周遊の拠点づくりとして、地域の観光拠点となる「道の駅」との連携を推進する。【新規】